

発生動向の概況

インフルエンザは中南予を中心に増加しています。定点からの患者報告数は、第9週で425人(定点あたり7.0人)と、前週(定点あたり5.1人)に比べて約1.5倍に増加しましたが、県内で警報、注意報の基準値を超えた地区はありません。今シーズンの流行は、過去10シーズンで2番目に遅い立ち上がりとなりました。今シーズンと同様に、流行の立ち上がりが遅かった04/05シーズンは3月中旬に流行のピークを迎えています。また、2月下旬から集団かぜ発生報告が相次いでおり、今後しばらくは患者数の増加が見込まれます。ウイルス型はAソ連型、A香港型、B型が検出され、今シーズンはA、B型が混在して流行しています。今後の動向に注意し、十分な休養と栄養をとって体調管理に心がけましょう。インフルエンザの予防にはマスク、うがい、手洗い等が有効です。

感染性胃腸炎が微増してきました。病原体はノロウイルスとロタウイルスが検出されています。例年、乳幼児の嘔吐下痢症の原因であるロタウイルスによる胃腸炎が、春先に増加します。手洗いを励行してください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、例年の同時期(過去10年平均1.3人)と比べかなり多くなっています。特に中予で多発しています。この疾患はまれに重症化する事がありますので、喉の痛み、発熱などの症状がでた場合は早めに医療機関を受診しましょう。水痘(みずぼうそう)は横ばいで推移していますが、全域で多発しています。伝染性紅斑(りんご病)が全域で発生しています。この疾患は4、5年おきに流行期を迎えます。今シーズンはこの流行期に入りましたので、今後の動向に注意してください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 五類感染症 : クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	➡ 7.0	例年より流行の開始が遅れていたが、全域で増加。中南予で多発している。
A群溶菌咽頭炎	➡ 4.5	例年の同時期と比べてかなり多い。特に中予で多発している。
感染性胃腸炎	➡ 11.9	微増している。他地区に比べ、中予で多発傾向。
水痘	➡ 4.0	全域で多発している。西条、今治地区および中予で増加傾向。
伝染性紅斑	➡ 0.8	流行期に入っているため、県下全域で増加傾向。八幡浜地区で急増した。

解析評価委員のコメントから

インフルエンザ : 少し増えてきています。A型がやや多いですがB型もいます。(東予)

爆発的な増え方ではありませんが、増加しています。地域によって差がありますが、A型B型は同じくらい見られます。そのためか、今シーズン2回目のインフルエンザにかかったケースもあるようです。(中予)

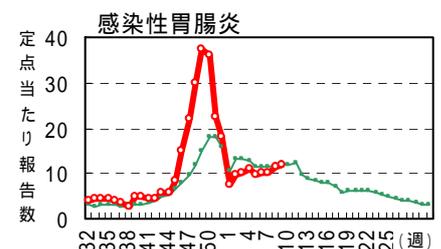
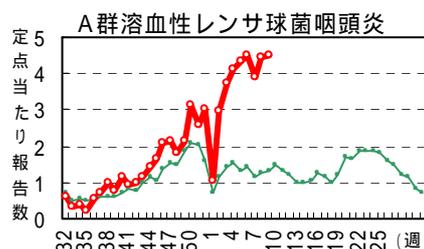
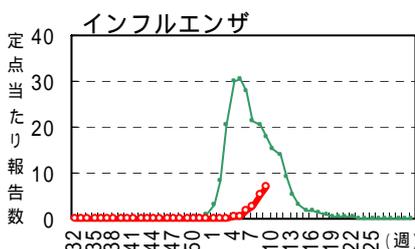
県下全域で流行してきました。特に中南予で多発しています。(南予)

A群溶菌咽頭炎 : 増加しています。治療終了後すぐに再発する例も少なくありません。(中予)

感染性胃腸炎 : やや増加しています。ロタウイルスによるものが少し目立ってきました。細菌性のもも散見されます。(中予)

一時の多発の状況ではありませんが、時々発生が見られています。ロタも見られており、ノロウイルスかなと思えるケースも散見されます。(南予)

過去30週の動向 (—●— : 過去30週の動向、 —●— : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。本感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 19 年 3 月 8 日現在

インフルエンザの患者報告数の増加に伴い、インフルエンザ定点から搬入される検体も増加してきました。定点検体からインフルエンザウイルスが次々と分離されており、松山地区と今治地区では A 香港型が、西条地区では A 香港と B 型が検出されています。また、県内で集団発生の報告も相次いでおり、これらの検体からは西条、今治、松山市、八幡浜地区で B 型が、松山地区では A ソ連型が、宇和島地区では A 香港型が検出されました。さらに西条・宇和島地区の集団発生検体について現在検査中です。今までに県内で 3 種類のウイルスの検出があり、A 香港型が多いようですが、まだ今後流行ウイルスの種類には変化が見られる可能性もあります。

週別インフルエンザウイルス分離状況（集団発生事例は除く）

型別	週期間	5	6	7	8	9	計
		1/29-	2/5-	2/12-	2/19-	2/26-	
A香港型	西今条		3	1	2	1	7
	松山	1			1		1
	計	1	3	1	3	1	9
B型	西条				1		1
	計				1		1
計		1	3	1	4		10

感染性胃腸炎は、横ばいから少し上昇が見られてきましたが、その原因はロタウイルスの本格的な流行期に入ったためと思われます。2 月中の胃腸炎検体 25 例のうち、ロタウイルス 9 例、ノロウイルス 6 例が検出されています。ロタ・ノロ (G) の重感染例も 1 例ありました。ロタウイルスが検出された患者は、1 歳児が大半ですが、3 ヶ月や 7 ヶ月の乳児にも見られています。その他の気道疾患では溶レン菌感染症から A 群溶レン菌が、下気道炎から RS ウイルス、単純ヘルペスウイルス 1 型の検出がありました。

過去 5 週 検出病原体（インフルエンザウイルス以外）

(1 月 29 日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
5	1/29 ~ 2/4	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	2
				ロタ	糞便	1
				ノロ	糞便	4
				サボ	糞便	1
			上気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
6	2/5 ~ 2/11	西条	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		今治	感染性胃腸炎	ロタ・ノロ	糞便	1
		松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	2
			感染性胃腸炎	ロタ	糞便	2
				ノロ	糞便	3
			下気道炎	RS	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	1
7	2/12 ~ 2/18	西条	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	2
			下気道炎	単純ヘルペス 1	咽頭ぬぐい液	1
8	2/19 ~ 2/25	松山市	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	3
				ノロ	糞便	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月			合計			
	2006			2007			
	10	11	12	1	2	3	
ウイルス	エコー 18	1					1
	ポリオ 1	1					1
	ポリオ 3	1					1
	エンテロ 71	1	2	1			4
	インフル A 香港				1	8	9
	インフル B					1	1
	RS		1	1	3	2	7
	ムンプス	3	1	2			6
	ロタ				1	9	10
	ノロ	6	40	35	13	6	100
	サボ		1	2	2		5
	アデノ				1		1
	アデノ 1	2	1	2			5
	アデノ 2	1			1		2
アデノ 3	1					1	
アデノ 5				1		1	
単純ヘルペス 1			1	1	1	3	
ウイルス計	17	46	44	24	26	158	
細菌	下痢原性大腸菌	2		1	1	1	5
	サルモネラ O4		1				1
	カンピロバクター	1	1	1	2		5
	A 群溶レン菌	2	3	5	2	4	16
細菌計	5	5	7	5	5	27	

臨床診断名別検出結果（2007 年 1 月以降採取検体）

検出病原体	インフル A 群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	下気道炎	上気道炎	不明熱	合計
インフル A 香港	9						9
インフル B	1						1
RS				2	2	1	5
ロタ		10					10
ノロ		19					19
サボ		2					2
アデノ		1					1
アデノ 2						1	1
アデノ 5						1	1
単純ヘルペス 1			1	1			2
ウイルス計	10	32	1	3	2	3	51
下痢原性大腸菌		2					2
カンピロバクター		2					2
A 群溶レン菌	6						6
細菌計	6	4					10

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 9 週 (2007.2.26 ~ 3.4)

患者報告数	インフルエンザ ¹⁾	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん		
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん ²⁾	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ³⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 ⁴⁾	
四国中央	18	1		1	18				2					-	-							四国中央
西条	34	2		12	72	16	1	1	7			1	3		1							西条
今治	40	4		20	53	25		6	5				6		7			1				今治
松山市	167	14	1	85	181	61	5	11	8				7		3	-	-	-	-	-		松山市
松山	55		3	22	57	25		3	9				3				1					松山
八幡浜	57			13	50	10		9	10				6		4							八幡浜
宇和島	54	5		14	8	12	1	1	2				4									宇和島
愛媛県	425	26	4	167	439	149	7	31	43			1	29		15		1	1				愛媛県
1週前	313	25	3	165	430	106	23	32	38				30		15							1週前
2週前	154	29	2	144	380	123	8	26	25				20		10				7			2週前
3週前	98	50	5	167	366	131	19	28	42			1	33	2	17				7			3週前
年齢別	0-5ヶ月	4	9		2	4			1						1							0
	6-11ヶ月	4	5		24	14			29				1					1				1-4
	1	17	5	1	74	23	2	3	11				4									5-9
	2	28	6	1	9	50	21	2	2				1		1							10-14
	3	19	1		14	50	16		4				1		1							15-19
	4	35			25	44	30	1	4				2									20-24
	5	25		1	23	39	21		6			1	3					1				25-29
	6	15		1	24	38	13	2	8				2									30-34
	7	23			12	22	3		3				4									35-39
	8	25			20	20	3		2				4		1							40-44
	9	27			16	21																45-49
	10-14	92			17	38	1		1				5									50-54
	15-19	12			2	5																55-59
	20-29 ⁵⁾	18			4	12							2		3							60-64
	30-39	32													4							65-69
	40-49	18													2							70-
50-59	16													1								
60-69	5													1								
70-79 ⁶⁾	3																					
80-	7																					

定点当たり報告数

四国中央	3.6	.3		.3	6.0			.7						-	-							四国中央
西条	3.4	.3		2.0	12.0	2.7	.2	1.2			.2		.5		1.0							西条
今治	5.0	.8		4.0	10.6	5.0		1.2	1.0				1.2		7.0			1.0				今治
松山市	9.8	1.3	.1	7.7	16.5	5.5	.5	1.0	.7				.6		1.0	-	-	-	-	-		松山市
松山	7.9		.8	5.5	14.3	6.3		.8	2.3				.8				1.0					松山
八幡浜	8.1			3.3	12.5	2.5		2.3	2.5				1.5		4.0							八幡浜
宇和島	7.7	1.3		3.5	2.0	3.0	.3	.3	.5				1.0									宇和島
愛媛県	7.0	.7	.1	4.5	11.9	4.0	.2	.8	1.2			.0	.8		1.9		.2	.2				愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は3月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2007年 第 8 週 (2007.2.19 ~ 2.25)

患者報告数	1) インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点					成人麻しん					
		R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	2) 麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		4) クラミジア肺炎				
四国中央	5		1	2	22	6		1	1					1	-	-									四国中央
西 条	23	5	1	13	61	13		1	6					1		2									西 条
今 治	28	6		19	69	12		2	6	10				3		8									今 治
松 山 市	122	10	1	87	187	40		6	10	9				14		1	-	-	-	-	-				松 山 市
松 山	47			29	50	14		7		9				2		1									松 山
八 幡 浜	43			6	33	15		7	11	3				3		3									八 幡 浜
宇 和 島	45	4		9	8	6			4					6											宇 和 島
愛 媛 県	313	25	3	165	430	106		23	32	38				30		15									愛 媛 県
1週前	154	29	2	144	380	123		8	26	25				20		10							7		1週前
2週前	98	50	5	167	366	131		19	28	42				33	2	17							7		2週前
3週前	33	76	2	160	356	139		10	18	29				21		20							6		3週前
0-5ヶ月	2	5			3	2				1															0
6-11ヶ月	5	3			28	10			2	20															1-4
1	18	10	1	3	64	15		5	1	15				2		1									5-9
2	17	4		3	65	13		7	1	2				3		2									10-14
3	17			11	47	19		5	5					9											15-19
4	26	2		29	40	12		2	5					6		1									20-24
5	11	1		27	34	22		4	7					2											25-29
6	10			25	44	7			2					3											30-34
7	22		1	11	21				2																35-39
8	24			8	30	2			3					1											40-44
9	26			16	14	2			1																45-49
10-14	77			29	31	2			2					2		2									50-54
15-19	10			2	2				1																55-59
20-29 ⁵⁾	10		1	1	7									2		1									60-64
30-39	15															3									65-69
40-49	11															1									70-
50-59	7															2									
60-69	3															1									
70-79 ⁶⁾	1															1									
80-	1																								

定点当たり報告数

四国中央	1.0		.3	.7	7.3	2.0		.3	.3					.3	-	-									四国中央
西 条	2.3	.8	.2	2.2	10.2	2.2	.2		1.0					.2		2.0									西 条
今 治	3.5	1.2		3.8	13.8	2.4	.4	1.2	2.0					.6		8.0									今 治
松 山 市	7.2	.9	.1	7.9	17.0	3.6	.5	.9	.8					1.3		.3	-	-	-	-	-				松 山 市
松 山	6.7			7.3	12.5	3.5	1.8		2.3					.5		1.0									松 山
八 幡 浜	6.1			1.5	8.3	3.8	1.8	2.8	.8					.8		3.0									八 幡 浜
宇 和 島	6.4	1.0		2.3	2.0	1.5		1.0						1.5											宇 和 島
愛 媛 県	5.1	.7	.1	4.5	11.6	2.9	.6	.9	1.0					.8		1.9									愛 媛 県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は2月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2007年2月

患者報告数		STD定点									基幹定点								
		性器クラミジア感 染性症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭 コンジローマ			淋 菌 感 染 症				ド メ チ シ リ ン 耐 性 黄 色 ブ ドウ 球 菌 感 染 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	葉 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症		
		総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性						
保 健 所 別	四国中央 西条 今治										1	1		2				四国中央 西条 今治	
	松山市 松山	10	1	9	6		6	1		1	1		1		1	-	-	-	松山市 松山
	八幡浜 宇和島	1	1										1	1					八幡浜 宇和島
月 推 移	愛媛県	11	2	9	6		6	1		1	8	7	1	13		1		1	愛媛県
	1月前	16	1	15	9		4	5			4	3	1	18		1		1	1月前
	2月前	16	4	12	12		3	9	4	2	2	8	8	16		1			2月前
	3月前	14	3	11	7		3	4	4	1	3	4	4	12					3月前
年 齢 別	0																		0
	1-4													1					1-4
	5-9																		5-9
	10-14																		10-14
	15-19	1		1							1								15-19
	20-24	4	2	2	2		2	1	1		1		1						20-24
	25-29	3		3															25-29
	30-34	2		2							3	3							30-34
	35-39	1		1							2	2		1					35-39
	40-44				2		2				1	1							40-44
	45-49				1		1												45-49
	50-54																		50-54
	55-59										1	1						1	55-59
	60-64				1		1							2					60-64
65-69													1					65-69	
70-													8		1			70-	

定点当たり報告数

保 健 所 別	四国中央 西条 今治									.5	.5		2.0				1.0	四国中央 西条 今治	
	松山市 松山	2.5	.3	2.3	1.5		1.5	.3		.3		.3		-	-	-		松山市 松山	
	八幡浜 宇和島	1.0	1.0							1.0	1.0				1.0				八幡浜 宇和島
愛媛県		1.0	.2	.8	.5		.5	.1		.1	.7	.6	.1	2.2		0.2		0.2	愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は3月7日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第7、8週 (2007.2.12 ~ 2.25)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
7週	愛媛県	2.5	.8	.1	3.9	10.3	3.3	.2	.7	.7				.5		1.3			1.2			
	近畿県	香川県	2.0	1.1	.2	1.2	5.1	2.8		.2	.7	.0		.1		.5						
		徳島県	3.2	1.4	.1	1.3	12.2	1.2	.0	.4	.5					.6	1.0					
		高知県	3.3	2.6	.0	1.5	4.9	2.2	.1	.2	.6			.0		1.1	.7			.4		
	全 国	11.9	.5	.3	2.1	6.1	2.3	.3	.4	.5	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.6	.0	.0	.5	.0	.0
	北海道	10.9	.6	.3	3.4	2.2	1.3	.1	.7	.4			.0	.0	.3		.4			.1		
	東北	8.5	.7	.3	2.0	5.3	2.6	.2	.5	.5			.0		1.0	.0	.6		.0	.9		
	関東	10.6	.1	.2	2.2	6.1	2.2	.2	.4	.6	.0	.0	.0	.0	.4	.0	.9		.0	.7	.0	.0
	甲信越北陸	9.2	.4	.6	3.4	6.2	2.2	.1	1.0	.5	.0	.0	.0		1.0		.3			.5	.1	
	東海	21.6	.7	.3	1.6	6.7	1.7	.1	.5	.6	.0		.0	.0	.4	.1	.3	.1	.0	.5		
近畿	13.5	.7	.2	1.6	4.9	2.2	.2	.4	.4	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.4	.1	.1	.4			
中国四国	5.8	1.0	.3	2.2	7.3	2.1	.1	.3	.6	.0	.0	.1		.6		.6		.0	.3	.0		
九州沖縄	14.5	.5	.3	2.1	7.8	3.6	1.3	.2	.7	.0		.1		.8	.0	1.0	.0	.0	.6	.0		

(2007.2.21集計)

8週	愛媛県	5.1	.7	.1	4.5	11.6	2.9	.6	.9	1.0				.8		1.9						
	近畿県	香川県	3.3	.7	.1	1.4	6.2	3.4	.1	.2	.9			.1		.9	.3					
		徳島県	6.9	1.0	.0	1.3	11.3	2.0		.5	.7					.5						
		高知県	4.4	1.7	.1	1.4	5.5	2.0	.1	.3	.4			.0		1.4		1.7			.3	
	全 国	18.4	.4	.3	2.5	6.7	2.4	.4	.6	.6	.0	.0	.0	.0	.7	.0	.7	.0	.0	.4	.0	.0
	北海道	16.8	.5	.3	4.2	2.5	1.9	.1	.9	.5	.0		.0		.7		.5					
	東北	12.8	.5	.5	2.5	5.8	2.0	.3	.7	.5	.0		.0	.0	1.0	.0	.8	.0	.0	.7		
	関東	17.2	.1	.3	2.7	6.5	2.1	.2	.5	.6	.0	.0	.0	.0	.4	.0	1.0	.0	.1	.5		.0
	甲信越北陸	18.0	.2	.6	4.2	7.7	2.6	.2	1.4	.5	.0		.0		1.2	.0	.3	.0		.4	.0	
	東海	25.1	.6	.3	1.8	7.2	1.9	.1	.7	.6	.0		.0		.5		.3			.5		
近畿	21.4	.5	.2	1.6	5.5	2.2	.2	.5	.5	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.3		.1	.3			
中国四国	9.8	.8	.4	2.3	7.5	2.3	.3	.3	.7		.0	.2		.7	.0	.7	.0		.3			
九州沖縄	23.5	.4	.3	2.2	9.0	3.8	1.6	.4	.8	.0		.1	.0	.8	.0	1.0			.6	.0		

(2007.2.28集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第7、8週 (2007.2.12～2.25)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																									
	疾病名	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス		(6) パラチフス	(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎 (ウエストナイル脳炎を含む)	(2) ウエストナイル熱	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(9) 狂犬病	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) クロイツフェルト・	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第7・8週報告数	全 国		9		1	18	1		9		2				1	3						1				9		12	1	2		3	2	26				11	1		2					
	四 国	愛 媛 県																																												
		香 川 県																																												
		徳 島 県																																												
		高 知 県																																												
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																										1					1	1												
		東 北 関 東		1			1																					1															1			
		甲 信 越 北 陸		2		1												1										4			1												2			
		東 海 近 畿		1																								3															1			
		中 国 四 国		2				3	1																			1																		
九 州 沖 縄			2				5		1																		2																			
全 国			3			7			5		2						3										4		6		1		2	1	12					6	1			2		
週 推 移	全 国		6		1	11	1		4						1												5		6	1	1		1	1	14				5							
	全 国		6		1	18			2								1										2		3	1	4		2	2	17				2	1				2		
	全 国	1	19		1	5	1		2			3			1											6	1	12	2	2		2		20	1				10					3		
	全 国	2	80	3	4	105	6		32	2	3	3		1	35	7										1	3		54	1	99	24	24	1	21	20	175	4	1		61	8		14		
2007年累積数	四 国	愛 媛 県				4			1																			1		1		2														
		香 川 県										3																																		
		徳 島 県																																												
		高 知 県																																												
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1			1	1			1																	3						4	2								1			
		東 北 関 東	1	2	1		6			3						2												5	1	3			2	6								4			2	
		甲 信 越 北 陸		28		2	12	3		10	1					6	2											12	43	8	6		2	7	96	3						15	1		7	
		東 海 近 畿		5			3			2						1												10	1					5								3				
中 国 四 国		13			9	2		2	2					3	1											9	10		3		2	1	26		1				10	2		1				
九 州 沖 縄		28	2	2	24			5	1					9	1											7	23	7	5		5	3	23	1						10	1		2			
全 国		2			25			6			3			4	1											6	2	3	1		6	1	6							8						
全 国		1			25			4						10	2											4	8	2	5		3	2	11						10	4			2			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.2.28集計)